

オキナワの旅2025 報告集

沖縄美ら海水族館
OKINAWA SHURALIMI AQUARIUM

【作成:オキタビ代表者派遣 学生】

名古屋大学・名古屋工業大学・愛知県立大学・名古屋市立大学
岐阜大学・岐阜市立女子短期大学・三重短期大学・南山大学

旅行企画・実施
大学生協事業連合

旅行センター 東海

東京都知事登録旅行業第 2-2467号
〒466-8657 名古屋市昭和区山手通2丁目16-1

〈企画〉
全国大学生活協同組合連合会 東海ブロック

大学生協オリジナルピーススタディツアー 「オキナワの旅」を開催しました！

オキナワの旅とは？

東海地方にある21の大学生協が協同で企画している旅行で、今年で34年目を迎えました！

「オキナワの旅」の推しポイント3選！

Point① 現地だからこその【学び】のある旅

沖縄県在住の方にガイドをお願いし、戦跡や米軍基地を巡り、過去の地上戦や今も続く基地問題について学びました！

ガマ（自然洞窟、鍾乳洞のこと。戦時中には住民の避難所などに使われた）の中に入ったり、米軍基地のそばを歩いたりして、今までとは違った視点で戦争や平和について考えるきっかけになりました。



Point② 大自然や文化を肌で感じられる旅



1日目、5日目のフライ特前後は那覇市内、3日目は海洋博公園周辺でフリータイムがありました。おいしい食べ物を食べたり、きれいな海でバナナボートなどのマリンスポーツを楽しんだりして、大自然や文化を満喫しました♪

Point③ 大学を超えた「つながり」が生まれる旅

今年は10大学の学生が参加しました。学びを話しあったり、フリータイムと一緒に過ごしたりして、一生忘れられない絆が生まれる旅になりました。



参加者（計16名）

南山大学（1名）、名古屋大学（1名）、名古屋工業大学（5名）
 愛知県立大学（1名）、名古屋市立大学（2名）、名城大学（1名）
 岐阜大学（1名）、岐阜市立女子短期大学（2名）、三重大学（1名）
 三重短期大学（1名）

旅の行程表



日程	内 容	宿泊先	食事
1 8/31 ㊱	【中部国際空港（セントレア）から沖縄那覇へ】 【早朝】中部国際空港 6:40集合 07:55発 →<スカイマーク554便>那覇空港 10:10着 那覇空港にてオリエンテーション（1時間程度） 【午後】那覇空港 ゆいレールを使ってホテルへ移動 ホテルにて2日目インフォメーション後フリータイム	那覇市 ホテルアザツット那覇	朝：× 昼：× 夕：×
2 9/1 ㊲	【戦争体験から平和について考える】 【午前】ホテル発沖縄戦の戦跡見学…★ガマ…★沖縄県営平和祈念公園…☆ひめゆりの塔… 【午後】★道の駅かでな・安保のみえる丘…本部（泊）	本部 マリンピアザ オキナワ	朝：○ 昼：○ 夕：○
3 9/2 ㊳	【沖縄の自然を体験する】 【午前】ホテル発…★海洋博公園（美ら海水族館） ※到着後美ら海水族館入場券をお渡しします。その後フリータイムとなります。 ※フリータイム中は各自アクティビティ等でお楽しみください（ただしアクティビティ参加費用等は参加者負担となります）	本部 マリンピアザ オキナワ	朝：○ 昼：× 夕：×
4 9/3 水	【沖縄の文化を体験する】 【午前】ホテル発…★コザミュージックタウン「まちまーい」で戦後の歴史と多文化共生体験… 【午後】那覇市（泊）	那覇市 ホテルアザツット那覇	朝：○ 昼：○ 夕：×
5 9/4 ㊴	【出発まで自由行動】 （首里城、国際通りなど那覇観光をお楽しみください） ホテル…（各自移動・負担）…フリータイム…（各自移動・負担）…那覇空港 13:20集合 14:30発 →<スカイマーク554便>中部国際空港 16:40着 到着後解散		朝：○ 昼：× 夕：×

主な訪問先

沖縄県営平和祈念公園

<https://heiwa-irei-okinawa.jp/>



ひめゆり平和祈念資料館

<https://www.himeyuri.or.jp/>



海洋博公園

<https://oki-park.jp/kaiyohaku/>



道の駅かでな

<https://michinoeki-kadena.jp/>



オキタビ参加者の声



1年生女子で国際通りを巡りました。BlueSeal のアイスを食べて、夜は沖縄料理を食べました。初めて会った子たちなのに仲良くなれて、とても楽しかったし、沖縄料理はとてもおいしかったです。（南山大学）

壮絶な沖縄戦について学びました。私の曾祖父は沖縄戦で亡くなっているのですが、今までそれ以上知ろうとしてきませんでした。実際に平和の礎を確認して、ひめゆりについて学んで、ガマに入りて、教科書で学んだときよりもっと自分事として戦争があったという事実が感じられました。他の参加者と感想や意見を共有できるのはオキタビならではだと思うし、大学生のうちに訪れることがてきてよかったです。（名古屋市立大学）

2日目。平和戦争を学びたいとは思っていましたが、正直、観光に興味がありました。

ですが、ガマに入りそれは変わりました。ぬかるんだ地面、ゴツゴツした岩、したたる水滴の音、今でも思い出します。何も頼れないガマで人々は必死に生きていたと思うと、私達は、どれだけ平和で幸せが分かりました。

（岐阜市立女子短期大学）

美ら海水族館では、イルカと写真を撮れたのが印象的でした。その後エメラルドビーチに行き初めて海に入りました。こんなに透明な海を見たのは、生きて初めてで、とても感動しました。（三重大学）

サンゴ礁のツアーに参加した時に世界のサンゴの種類の半分以上が沖縄で見られると聞いて、虫や魚など含めて、本当に生態系の豊かな場所だと実感。ですがそんなサンゴも今は数を減らしていて、元々防波堤の役割りも果たしてくれているものだったので心配という話も聞くことができました。（三重短期大学）

楽しかったこととしては3日目のシュノーケリングで沖縄のきれいな海の中を実際に目で見ることができたことです。魚にえさをあげることもできてすごくいい出がきました。

また、シーサーの絵付け体験も沖縄ならではのことだったのでとても楽しめました。かわいいシーサーのお土産がてきてよかったです。（名城大学）

沖縄へ一人で参加しましたが、どの人もみんな親切で4泊5日の旅はとても楽しかったです。初めての沖縄で得たことは確実に自分の価値感に影響を与えてくれました。毎年行きたいくらいです。オキタビに参加しようと決めて実行した自分の行動は大正解でした。（名古屋市立大学）

人見知りですが、初日からいろんな人が話しかけてたくさん話もでき仲良くなれたことが本当に嬉しかったです。この旅に参加して良かったと心から思っています。また機会があれば参加したいです（名城大学）





オキタビ 1日目



中部国際空港～那覇空港（事前オリエンテーション）～那覇市内フリータイム

那覇空港（事前オリエンテーション）

► 米軍基地問題について

担当者：名古屋大学4年Sさん



沖縄到着後、那覇空港にて沖縄県在住のヨコタさんによるオリエンテーションが行われました。ご自身の学生時代の経験やこれまで行ってきた平和活動、普天間基地移設問題など幅広い話題の中で、特に関心をもった論点は米軍基地がもたらす経済的恩恵の是非についてです。

米軍基地の存在は県民に騒音・環境汚染・米兵による犯罪など様々な問題をもたらす一方で、基地関連雇用や軍人の消費活動が地域経済を支えているという側面もあります。これについてヨコタさんは、「本来は日本全体が抱える安全保障上の課題の“しわ寄せ”が沖縄に集中していることこそが問題であり、地域経済以前に国家政策の不公平さを認識すべきだ」と言及されました。

ここで、実際に基地返還後に経済的発展を遂げた地域の事例を紹介します。

1972年本土復帰前後から協議が進められ、1981年に返還が実現した北谷町では、約44億円をかけた跡地利用事業が実施されました。公園などの公共施設や飲食店、大規模商業施設などが建設され、特に西海岸一帯は都市型リゾートとして人気を集めています。北谷町桑江地区の直接経済効果は返還前と比べると約108倍に、誘発雇用人数も135倍に増加しました。（全国商工新聞『基地返還跡地利用 経済効果 2000億円＝沖縄・北谷』2010年11月8日付）

この事例は、基地に依存しない形で沖縄が発展していく道を示していると感じます。また、「沖縄の経済は米軍基地によって成り立っている」という固定観念は必ずしも正しくないということを知り、現地に足を運び現地の声に耳を傾けそれを叩き台として自分自身で調べることの大切さを学びました。



←那覇空港にて

那覇市内フリータイム

► 御朱印・御城印事情

担当者：名古屋大学4年Sさん



・波上宮

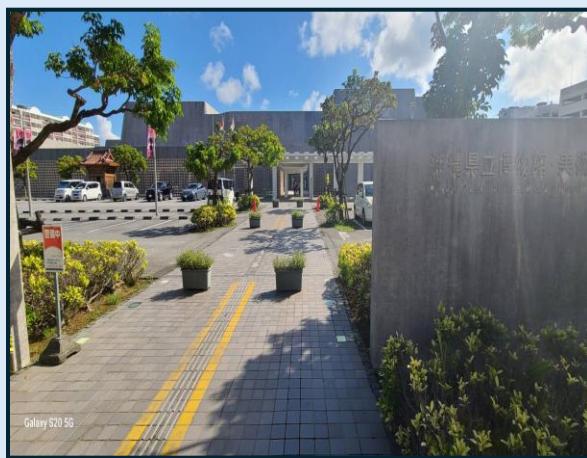
琉球八社のなかでも最も格式の高い神社です。社殿全体が朱色で統一されており、また境内には狛犬ではなくシーサーがいたり、とても沖縄らしさを感じられる場所でした。海に面した崖の上に位置しており、文字通り波上にあるような景観がとても美しかったです。御朱印もとっても立派でした！

・首里城

首里城の火災から6年が経ちましたが、現在も復旧工事中で、工事の経過やその技術などが展示されていました。あの有名な正殿を見ることはできませんでしたが、世界遺産の御城印をゲットできたので満足です。写真では伝わりませんが、本物はもっとキラキラと輝いています✨

沖縄県立博物館・美術館 (おきみゅー)

担当者：名古屋工業大学2年Hさん



私は博物館と美術館の両方を見てきました。そのなかでも特に印象に残っているのは、美術館の中で見た「生きる」という題の絵です。

この絵は、おそらく戦時中の人々を描いたもので、避難豪（ガマ）から光がある上の方を見ている様子で戦争が終わることを望んでいるかのように感じました。

他にも、沖縄の芸術を戦前から戦時中、戦後にわたって掲示されていました。

また、沖縄出身のアーティストの展示もあり、沖縄でしか感じられない、沖縄独自の芸術に触れることができました。

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）は、沖縄の自然・歴史・文化・芸術を総合的に紹介する複合施設です。

博物館部門では「海と島に生きる」をテーマに、沖縄の自然環境や歴史、民俗文化、戦後の復興などを展示し、屋外には伝統的な民家も再現されています。

一方、美術館部門では、沖縄にゆかりのある作家の作品を中心に、絵画や彫刻、映像などを展示しています。地域性と国際性を兼ね備えた企画展も開催され、芸術を通じて沖縄の魅力を発信しています。

他にも、体験型展示やワークショップを通じた学びや創造の場があります。



オキタビ 2日目



ガマ～平和祈念公園～ひめゆりの塔～車窓（嘉数高台・普天間基地・沖縄国際大学等）
～かでな道の駅（嘉手納基地）～車窓（辺野古基地予定地）～ホテル（感想交流会）

ガマ

ガマ

担当者：名古屋工業大学2年 Iさん



沖縄陸軍病院本部壕跡を訪れ、ガマ（自然洞窟）に入る体験を行いました。

入口には大きなガジュマルの木があり、周囲には虫が多く見られました。

洞窟内は暗く狭く、足場が悪いため歩行が難しかったです。

当時はこのような自然の洞窟が避難壕として利用されており、現地を訪れることでその環境を直接確認することができました。

外から見ても中に入ってみても、そこはまさに自然の洞窟でした。

入口には植物が生い茂り、虫も多く見られ、内部は真っ暗でした。植物や虫、そして暗闇が苦手な自分にとっては入るだけでも大変で、十数分いるだけでも限界を感じました。

戦時中には、何か月もこの場所で生活していた人々や、当時の避難者の多さを聞き、その過酷さは想像を超えるものだと感じました。

今回の体験を通して、その想像を絶する暮らしの一端をわずかでも肌で感じることができたのは貴重な経験でした。

やはり、現地に足を運ばなければ分からぬ空気や緊張感があると強く感じました。

ガマの中に→





- **ガマについて**
- ガマとは、自然の洞窟のことです。沖縄戦で防空壕として使われ、
- 避難したり病院としても使われていました。どこにあるんだろうと思っていたら、大きな木の下にガマに入る穴がありました。
- ガイドさんの案内が無ければ、ガマを見つけることは出来なかったです。

感じたこと

傾斜が急で、ぬかるんだ地面を慎重に降り、ガマへと入りました。天上から滲み出る零の音が、ポタッポタッと響いていました。外は明るいのに、奥に進む程真っ暗になっていきます。懐中電灯もなかった当時は、どれだけ心細かったのだろう。

ガイドさんの指示で懐中電灯のあかりを消した時、目の前も何も見えなくなりました。ほんの数秒なのにとても長く、怖く感じました。ふとガマの入り口を見ると、外から太陽の光が差し込んでいて。当時の人も同じ景色を見ていたのかなと思いました。



沖縄平和祈念公園

沖縄県営平和祈念公園



担当者：名古屋工業大学2年Hさん

沖縄県営平和祈念公園は、沖縄戦の記憶を後世に伝え、平和への願いを形にするため、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く感じられる場です。

公園の中心にある「平和祈念資料館」では、沖縄戦の実態を伝える写真や遺品、証言などが展示されています。ここでは、戦争の背景から戦後の復興、そして平和への歩みまでを学ぶことができます。

また、公園内には「平和の礎（写真）」があり、沖縄戦で亡くなったすべての人々の名前が刻まれています。国籍や軍民を問わず、犠牲者一人ひとりの存在を記録することで命の尊さと戦争の非人道性を訴えています。

さらに、「国立沖縄戦没者墓苑」では、沖縄戦で亡くなった軍人・民間人の遺骨が納められており、静かな慰霊の場となっています。

訪れる人々が自然の中で静かに祈り、学び、考えることができる場所です。

今の時代にも戦争のことを語り継いでいくためや亡くなった方を追悼するために資料館などの伝える場が多いように感じました。

ここでは沖縄県営平和祈念公園を載せていましたが、他にも様々な視点から見た戦争の様子を学ぶ場が多く、今回の旅で学んだことを伝えていくということは私ができることで重要なことだと感じました。

戦時下の沖縄



担当者：愛知県立大学2年Gさん

戦時下の沖縄では多くの住民たちが犠牲になりました。戦渦に巻き込まれるだけでなく、捕虜にならないようにと軍からの命令で集団自決をして亡くなっていた人々も少なくありません。

また、多くの学生たちが動員され、命を落としました。奨学金を借りていたために動員を拒めなかったということもあったそうです。

(写真は全学徒隊の碑、動員された旧中等学校全21校の校名が刻まれている)

ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

担当者：南山大学1年Tさん



ひめゆりの塔

沖縄戦で犠牲となった女子学徒と教師227人を慰霊するため、伊原第三外科壕跡に建てられた碑



ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆり学徒隊の戦争体験を伝えるため、遺品や証言映像などを展示する平和祈念施設

解散命令後に多くのひめゆり学徒隊の子達が亡くなったと聞いて衝撃を受けた。ガイドの方が仰っていた「戦争について学ぼうとしてほしい、学び続けてほしい」という言葉が忘れられない。沖縄県以外の出身の人も多く亡くなっている沖縄戦についてもっと多くの人に知ってほしい。

担当者：三重短期大学1年Iさん

【ひめゆり平和祈念資料館・ひめゆりの塔】

ひめゆり平和祈念資料館では沖縄戦でのひめゆり学徒隊の体験を学び、それを通じて命の尊さや平和の大切さを学んできました。展示の中には沖縄戦を生き残った生徒の方々の証言映像もあります。生々しく当時のことを伝えてくれています。隣接するひめゆりの塔は犠牲者を慰霊し、平和を祈る場として多くの人が訪れる場所となっています。



ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館



ひめゆり資料館では、証言映像や当時の写真、実物大の模型を通してひめゆり学徒隊の体験を学んだ。劣悪な環境下で、死と隣り合わせの日々はどれほど怖かったか。ひとりひとりの顔写真と生き様を見て、この人たちが命を犠牲にしてまでも守りたかったものを考えさせられた。

今ある平和は過去の人々が頑張ってきたから。私も次世代に平和をつないでいけるように、オキタビで学んだことを伝えていきたい。



←お土産店で美味しい
お昼ご飯を頂きました♪

嘉手納基地

担当者：名古屋工業大学2年Tさん



2日目の昼から道の駅嘉手納基地を見学しました。嘉手納基地は左上の写真のように国道をはさんですぐ隣にありました。日本最大の空軍基地であり、嘉手納町の82%を占めます。道の駅には学習展示室があり、基地問題の歴史を学んだりや騒音や匂いを体験できたりするブースがありました。左下の写真のように名古屋城付近の地図と嘉手納地域を比べてみると基地の大きさを想像することができました。もし自分の身近な地域にあったら...と思うと非常に恐ろしく感じました。

オキタビに行く前は「基地はない方がいい」という凝り固まった考えをもっていました。しかし、基地があることで得られる恩恵もある、嘉手納基地周辺に住んでいる方全員が、基地の存在に反対しているわけではないという事実を認識し、学んだ知識と現地で体験した知識は同じでないことを改めて実感しました。

担当者：岐阜女子短期大学2年Hさん

道の駅かでな学習資料室の展示



沖縄は、1972年に日本本土に返還されるまで、アメリカ軍に占領されていました。それが、沖縄の住民による祖国復帰運動のおかげで、日米間での交渉が重なり、ついに1972年5月15日にアメリカ統治は終わりを告げました。アメリカによる統治は終わったのにも関わらず未だに基地は残ったままです。基地に対する考えは人によってさまざまです。



オキタビ 3日目



本部町周辺（美ら海水族館）&フリータイム（シュノーケリング・伊江島渡航・ハナサキマルシェ等）

伊江島の湧出展望台からの景色

担当者：岐阜女子短期大学2年Hさん



沖縄は海がとてもきれいです。どこで海を見てもエメラルドの色をしていて世界が全部透明かのように見えました。この海も85年前は戦争できれいな状態では無かったと思うとぞっとします。今ある平和な世の中、雄大な自然に感謝しながら海に思いを馳せました。

► バナナボート

担当者：名古屋大学4年Sさん



フリータイムで、もとぶ元気村のバナナボート体験をしました！インストラクターさんがとっても上手で、海に落ちない程度に揺れたり水しぶきがかかったりして、とても楽しかったです。青い海、広い空、対岸の島とそこに続く白い橋、数か月経っても鮮明に思い出すことができるほど、美しい景色でした。また、沖縄の海は世界一のサンゴ礁の宝庫として知られています。世界中に生息すると考えられる600～800種のサンゴ礁のうち、沖縄の海にはその約半数以上が住んでおり、これは1つの場所としては世界最大の種類数だそうです！

世界に誇れる沖縄の美しい海をこれからも守っていかなければならぬと感じました。



この日は雲があつて見えずらかったのですが、天気の良い日は海面から海底のサンゴ礁を観察することができるそうです！





備瀬マリンレジャー

美ら海水族館から徒歩15分ほどにあります。

(バスもあります。歩いていくときは、本当に暑いので日傘、飲み物必須！) 絶対に沖縄でシュノーケルをしたくて、仲良くなった子と一緒に体験しました！

マリンアクティビティは、時間が指定されていることが多いので事前に確認しておくとよいと思います。

私たちは、朝一にシュノーケル→隣接しているエメラルドビーチ→美ら海水族館の順で過ごしました。



シュノーケル

ガイドの方が引っ張ってくれるので、泳げない私も安心でした。

青空と海に囲まれ、とても気持ち良かったです。

ガイドさんが海底からナマコをとってきてくれたり、魚に餌をあげたり、沖縄の海を満喫できました。魚の群れに囲まれたときはビックリしました！



シュノーケルをした後、美ら海水族館に行きました。少し前までは、自分たちが海に潜って魚たちと泳いでいたので、とても不思議な気持ちでした。

※イメージ



沖縄の自然



担当者：
三重短期大学1年Iさん



亜熱帯気候による豊かな自然・生態系が特徴です。海には約380種類のサンゴがいる世界的にも貴重な生態系があります。陸にはヤンバルクイナ等の沖縄固有の希少な動植物が生息しています。



青い空！広い海！白い砂浜！The南の島！どこを見ても自然の美しさに圧倒されるような、写真じゃ伝わりきらない魅力がありました。少し暑かったですが、海からの風が吹いていて気持ち良かったです。



夜は花火大会♪→



基地の町コザをあるく（異文化共生）～那霸フリータイム

沖縄の街並み

担当者：名古屋工業大学2年Tさん

<https://www.kozaweb.jp/eats/show/275>



沖縄の街並みは自然豊かで、伝統的な街並みが印象的でした。沖縄は強い台風がよく多く来ます。そのため台風で看板が飛ばされないように店名を直書きにしており沖縄の気候ならではの工夫を感じ取ることができました。また左下写真は「石敢當（いしがんとう）」呼ばれる石碑です。沖縄ではマジムンと呼ばれる魔物が信じられており、その除霊としての効果があるそうです。実際に宿泊したホテルの入り口にも石敢當がありました。

オキタビを通して気候に適するような建築や沖縄ならでの伝統を垣間見ることができました。その一方でコザの街並みといったモダンな風景や東海地方では見られないような風景を自分の目に焼き付けることができました。何気ない散策の中でも日常と違うところを発見でき興味深かったです。

楽しい時間も♪→



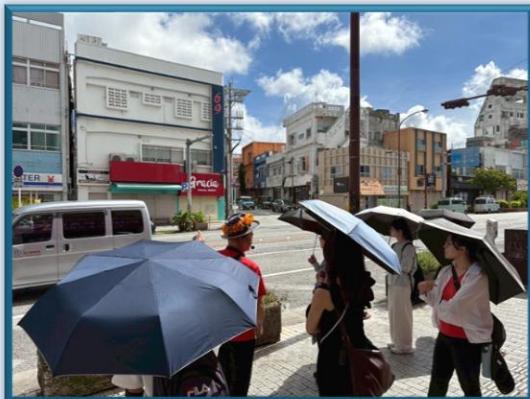
➤ 沖縄の文化について

担当者：名古屋大学4年Sさん



コザでは、現地のガイドさんと一緒に街歩きをし、沖縄の文化歴史に関する様々なお話を聞いていただきました。その中で特に印象に残っているのが、沖縄の方言である「うちなーぐち」についてです。「うちなーぐち」は、琉球王国時代に沖縄で使われていた言語で、ルーツは日本語と言われています。当初、私は「うちなーぐち」を日本語の方言の一つにすぎないと考えていましたが、ガイドの方が実際にうちなーぐちで話し始めた瞬間、まるで外国語のように全く理解することができませんでした。「かつて沖縄が独立した国家として存在していた」という歴史を実感させられる出来事でした。

しかし、その歴史ある琉球王国の言語は明治政府の中央集権的な統治をきっかけに使用を禁じられました。例えば、学校でうちなーぐちを話してしまった人は「方言札」を首から下げさせられる、といったように、うちなーぐちがタブー視される風潮が形成されました。その結果、沖縄のほとんどの若者は、うちなーぐちを話すことはおろか理解すら難しい状況にあるそうです。



近年、沖縄県や那覇市が主体となって、うちなーぐちの保存と継承に向けたさまざまな取り組みが進められています。そこでは、単に言語を習得するだけでなく、地域の歴史や先人たちの思いを次世代へ伝えていくことが重視されているそうです。この継承という問題は、沖縄に限ったものではありません。日本本土においても、方言や伝統芸能・技術などが少子高齢化や生活様式の変化によって失われつつあります。言語や文化の継承とは、単に「過去を保存する」ことではなく、「過去を未来へつなぐ行為」なのだと、今回の訪問を通じて強く感じました。

←ガイドさんとのクロストーク





オキタビ 5日目



那覇フリータイム～中部国際空港

フリータイム

担当者：名古屋工業大学2年Tさん

旧海軍司令部壕



オキタビの自由行動の時間中に海軍司令部壕へ行ってきました。旧海軍司令部壕では沖縄戦の時に戦っている海軍の様子や戦争の様子を学ぶことができます。壕にはいったのですが非常に暗く、狭い劣悪な環境であることが容易に想像できました。当時壕で過ごしていた人の絵が展示しているのですが、全員の顔に笑顔が全くないことに恐ろしさを感じました。また海軍の少将（リーダーの人）が自決する際に沖縄県民のことを褒めたたえる文を送っていたのにそれが沖縄復帰まで、隠されていたことも衝撃的でした。

旅ならではの一期一会

担当者：
名古屋市立大学1年Kさん

4泊5日の間、初めて出会った人とは思えないくらい楽しくて、密度の濃い時間を過ごせた。

御朱印を集めている人に感化されて旅以降始めたり、1つの部屋に集まってシーサーパックを見物したり、花火をしたり…。すべてが最高の思い出になった。





お楽しみ情報♪



お土産情報



担当者：岐阜女子短期大学1年Sさん

購入したオススメ商品

- ・chinすこう (100個入り)
- ・キー ホルダー
- ・シーサーの置物
- ・石垣島ロイズチョコ
- ・具志堅用高さんのハンカチ

私はあまり買わない派で、お土産には6000円位使いました。1万円程持っていくと余裕があると思います。お菓子は多めに買って良かったです！

ロイズの塩チョコをずっと食べたかったので、夢が叶いました♡甘いチョコにざらっとした沖縄の塩がついていて最高に美味しいです！オススメです！



お土産を買った場所

国際通りで購入しました。美らさん ぴんというお店は学割が使って安いです！(学生証必須!)

水族館やヒメユリの塔など施設付近にもお土産屋さんがあります。また、シーサーを買いたい人は要チェック！！商品によって顔も形も違うので、お気に入りのシーサーに出会えたら迷わずに購入することをオススメします！

←早朝の国際通り。ヤシの木があり「沖縄きた-!!」と感じました！飲食店も建ち並んでいるので、夜はとても賑わっています。



担当者：名古屋工業大学2年 Iさん

おみやげ事情



オキタビでは、主に沖縄空港と国際通りでおみやげを探しました。

初めて沖縄に行く人は、有名でおいしいと評判のお菓子を選ぶのが無難だと思い、写真のような「ちんすこう」や「紅芋タルト」を購入しました。

一方で、沖縄経験者の中には、沖縄限定のペットボトル飲料や海ブドウ、沖縄限定フレーバーのお菓子など、少しレベルの高い変わったおみやげを選ぶ人もいるようです。食べ物以外では、美ら海水族館のグッズや、人気キャラクターの沖縄限定デザインのグッズなどもおすすめです。

沖縄はそう頻繁に行ける場所ではないので、おみやげは後悔しないように、現地でしっかり悩んで決めて、迷ったら思い切って買うくらいの気持ちで選ぶのが良いと思いました。

おみやげ事情

担当者：南山大学1年Tさん

沖縄は物価が安く美味しいものやかわいいものが多いので、ぜひともおみやげを買ってほしい！

特に**美らさんぴん**というお店が激安で、3000円以上(多分)買うと大きな袋がもらえるのでおすすめ



時間があったら、ぜひ**手作りキャンドルシーサー**に挑戦してほしい。思い出になるしづっと飾って置ける！

オリオンビールの**Tシャツ**を着ると「沖縄にいる」って感じが際立つし何よりかわいいのでぜひ買ってみてほしい(ピンクとか水色もあるよ)

おみやげほとんど食べたり
人にあげたりしたのであまり
写真が無くてすみません 😊



➤ グルメ事情



沖縄そば

沖縄といえばこれ！特徴は、麺の上に乗った豚バラ肉。とっても柔らかくてジューシーでした！



タコライス

タコライスは沖縄発祥の料理です。米軍基地の軍人さん向けの安くてボリュームのあるメニューとして考案され、その後県民や観光客からも注目されるようになったそうです。



ステーキ88

1955年創業の老舗ステーキレストラン
本場アメリカンタイプのステーキをリーズナブルな価格で楽しめることで有名です！



BLUE SEAL

定番のBlue Sealですが、この可愛い3段ソフトは首里城限定！上から順にアセロラ、紅芋、マンゴーと、ザ★沖縄フレーバーでおすすめ！



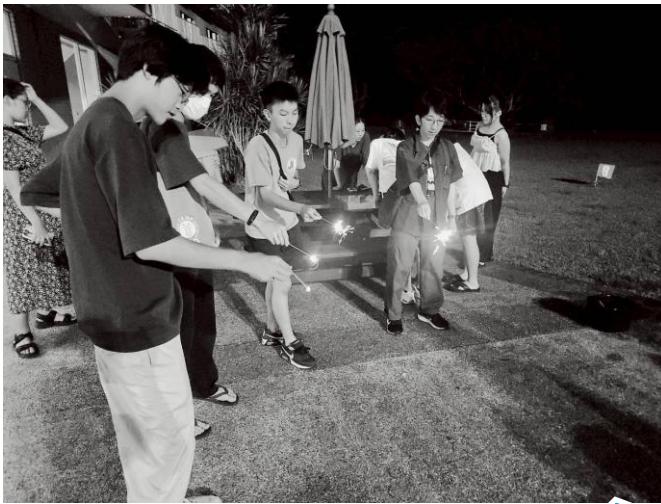
A&W

米国のファストフードチェーンで、日本では沖縄にのみ店舗があります。サロンパス味と有名なルートビアというジュースに挑戦し、なんとか完飲しました、、、！

参加者からの推薦コメント！

- 絶対に後悔しない5日間になります!とってもすてきな友だちができました。
- オキナワの旅では、普段の生活を過ごしているだけでは出会うことのできない仲間たちと 平和について学んだり、フリータイムでは沖縄らしい要素を思う存分満喫できます。この機会にぜひ参加してみてください。
- 私も、「5日に長いし初めてだしと不安でした。でも、すてきな仲間と出会えて、キレイな海もジンベエザメも、ガマの、不気味だけど入り込む日光が美しいところも、戦争での町と人々のが受けたことも、おいしいごはんも景色も、知ることができます。観光だけだして、歴史や大変な時代を経て今がある沖縄を大好きになりました。「知らないことは恥じることではなく知ろうとすることが大切です
- オキタビは学びも遊びも全部詰まっていて、最高に楽しく、充実した5日間を過ごすことができるので少しでも興味をもったらぜひ勇気を出して参加してみてください!
- 帰るのが少しさみしくなってしまう様な、そんな楽しくて学びのある旅でした!
- 沖縄の自然に癒され、歴史や文化にも触れられて、貴重な経験になりました。
- 一人でも、友達と一緒にでも、新たな友達と会える旅♪みんなと沖縄を楽しもう!!
- 行ってみないとわからないことがたくさんあります。ぜひオキタビに参加して オキナワを知ってください。
- 「沖縄に行ってみたい!」「沖縄に興味がある!」という理由だけでもOK! 同世代の子と楽しく観光しながら沖縄の歴史と平和について考えられる 充実した5日間になること間違いナシです!
- 新しい友達ができるだけでなく、本当にみんな優しいです。沖縄で新しい出会い、体験をしてみませんか。
- 沖縄の遊びと学び両方を一気に楽しみたい人におすすめ!
- 一緒に、オキタビを楽しめる仲間がいるので、自分では行かない場所に行けたり、違う視点からの景色や考え方を知れたりして、とても良い経験が得られる最高の旅!
- 新しい友だちもつくれるし、普通に行くより安いし、交流して自分の意見を深められるし、貸切バスがあるから、一石四鳥です!他にも自分で楽しみをつけたら一石何鳥にもなります!一人で申し込む人もたくさんいるから勇気を出して申し込んでみてください!
- 沖縄の人はやさしい人ばかりです。質問したら答え以上のものがかえってきてからかってくるユーモアのある人もいます。だれでも楽しめるところです!
- 夏休み・学びと遊び・充実なり 自分がもっている知識がさらにアップデートされました。絶対に自分ではできない 体験をすることができます!!
- 1人で参加しましたが、初日から参加者全員と仲良くなれました。参加者全員が平和について真剣に学ぼうとしていて、刺激を受けました。





オキナワの旅2026開催決定！
今しかできない、
4泊5日の旅をしませんか？



オキナワの旅2025報告集

作成：2025年度オキタビ 参加大学生協 代表者派遣学生
名古屋大学生協・名古屋工業大学生協・愛知県公立大学生協
名古屋市立大学生協・岐阜大学生協・岐阜市立女子短期大学生協
三重短期大学生協・インカレコープ愛知
全国大学生協組合連合会 東海ブロック